執筆者一覧

(50 音順)

氏　　名	所　属　・　職　位	専門分野
天　野　ゆかり	本学社会福祉学科・助教	介護福祉学
石　垣　範　子	本学看護学科・助教	老年看護
石　田　都　乃	本学看護学科・助教	母性看護
伊　藤　圭　祐	静岡県立大学食品栄養科学部・助教	食品微生物学
海老名　和　子	本学歯科衛生学科・講師	歯科衛生学
大　橋　敏　子	静岡市立清水病院口腔外科・歯科衛生士	歯科衛生学
木　林　身江子	本学社会福祉学科・講師	介護福祉学
鈴　木　俊　文	本学社会福祉学科・講師	介護福祉学
中　村　和　美	本学歯科衛生学科・助教	歯科衛生学
深　江　久　代	本学看護学科・教授	老年看護
三　富　道　子	本学社会福祉学科・教授	介護福祉学
森　野　智　子	本学歯科衛生学科・講師	歯科衛生学
吉　田　直　樹	本学歯科衛生学科・准教授	歯科医学

業　績　一　覧

各科ごと 50 音順に掲載
（2013 年 1 月～ 12 月）

一 般 教 育 等

氏　　名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
鶴 橋 俊 宏	『近世語推量表現の研究』	清文堂出版　2013 年 1 月	単 著
	「山東京伝の黄表紙における推量表現」	言語文化研究 12　2013 年 3 月　右 p.1-11	単 著
野 嶋 秀 子（佐原）	「アルキル硫酸ナトリウムの水中におけるミセル形成に関する熱的研究」	日本油化学会第 52 回年会講演要旨集（ISSN 1348-6764）p.247 2013 年 9 月	共 著
	“Calorimetric Study of Micelle Formation of Sodium Alkyl Sulfates in Water”	Journal of Oleo Science 62, (12) 1041-1047.	共 著
林　　恵 嗣	「食事誘発性熱産生が皮膚血管拡張の体温閾値に及ぼす影響」	『日本生理人類学会誌』Vol.18 特別号 (1) p.68-69 2013 年 6 月（日本生理人類学会第 68 回大会要旨集）	単 著
		『日本生理人類学会誌』Vol.18 No.3 p.140 2013 年 8 月	単 著
	「体温上昇が呼吸化学感受性に及ぼす影響」	『第 68 回日本体力医学会大会予稿集』p.157 2013 年 9 月	共 著（筆頭）
原 田 茂 治	「アルキル硫酸ナトリウムの水中におけるミセル形成に関する熱的研究」	日本油化学会第 52 回年会講演要旨集（ISSN 1348-6764）p.247 2013 年 9 月	共 著
	“Calorimetric Study of Micelle Formation of Sodium Alkyl Sulfates in Water”	Journal of Oleo Science 62, (12) 1041-1047.	共 著

看 護 学 科

氏　　名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
影 山 葉 子	「Pelangi：異文化協働準備教育用シリアスゲーム」	『医療職の能力開発』Vol.2 No.1 p.55-68　2013 年 4 月	共 著
	「看護ケアからみえる家族の代替可能性－患者の代理意思決定者としての家族への支援を通して－」	『第 23 回日本家族社会学会大会報告要旨』テーマセッション (3) 家族からの自由 / 家族への自由―生の基盤をつくるネゴシエーション p.70-71　2013 年 9 月	単 著
古 賀　　震	「DIC 診断における凝固・線溶系分子マーカー（TAT、SF、FMC、PIC）のエビデンス」	『第 7 回日本血栓止血学会学術標準化委員会シンポジウム (Scientific Standardization Committee Symposium 2013)』 p.419-420, Jan. 12th 2013.	共 著
	「DIC を併発した HELLP 症候群の臨床解析」	『第 12 回 TTM フォーラム記録』 p.35-42 2013.1.25.	共 著
	「診断に苦慮した著明な血小板低下症例の臨床的解析」	『第 13 回 TTM フォーラム講演集』 p.46-47 2013.3.9.	共 著
	「静岡県内健診における一般市民のメタボリック症候群の現状と実態調査およびその早期診断・予防対策に関する研究」	『US フォーラム』 2013 p.35	共 著
	「難解な医学教育（解剖生理学、病態・治療学）などの講義・授業をわかりやすく楽しく理解・記憶させる学習法の開発」	『US フォーラム』 2013 p.266	共 著
	「静岡県立大学・静岡県立大学短期大学部における感染症（麻疹、B 型肝炎、季節性・新型インフルエンザ・ノロウイルス・輸入感染症）に対する現状の調査と感染症予防策に関する研究」	『US フォーラム』 2013 p.191	共 著
	「静岡県立大学短期大学部　健康支援センター　活動報告　2012」	『静岡県立大学短期大学部　健康支援センター活動報告』 2012(201204-201303), 2013 年 7 月	共 著
	「SF/FMC」	『臨床に直結する血栓止血学』中外医学社、p.60-63, 2013 年 10 月 15 日	単 著
高 林 ふ み 代	“Viscous methylcellulose solution thickens gastric mucosa and increases the number of gland mucous cells in mice”	British Journal of Nutrition 2013 Oct 110(7) p.1195-1200	共 著
長 澤 利 枝	「歯科衛生・看護を学ぶ学生および社会福祉・介護福祉を学ぶ学生の被災者支援における特性の検討」	『第 4 回日本歯科衛生教育学会総会・学術大会抄録号』 Vol.4 No.2　p.111 2013 年 11 月 30 日～ 12 月 1 日	共 著

氏　　名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
深 江 久 代	『2014 年版保健師国家試験問題　解答と解説』	『標準保健師講座』編集室編　医学書院　p.42 ～ 58,136 ～ 144,170 ～ 173 2013.4	共 著
前 野 真 由 美	「外国人のための無料健康相談と検診会－検診結果報告－」	『外国人のための無料健康相談と検診会－第 15 回報告集－』　p.7 - 13　2013 年 3 月	共 著
	「外国人のための無料健康相談と検診会－検診会受診者アンケート－」	『外国人のための無料健康相談と検診会－第 15 回報告集－』　p.14-16　2013 年 3 月	単 著
	「静岡県在住外国人の国籍別にみた緩和ケアに関する考え - 質問紙調査より」	『日本国際保健医療学会　第 31 回西日本地方会』　p.43　2013 年 3 月	共 著
増 田 明 美	「全国の通信制高等学校養護教諭を対象にしたフォーラムの意義と今後のあり方」	『小児保健研究』　72(3) p.386-395 2013 年 5 月	共 著
	「女児を持つ母親の子宮頚がん予防ワクチン接種に対する意思決定」	第 33 回日本看護科学学会学術集会 2013 年 12 月 6 日	共 著
	「子宮頸がん予防に関する養護教諭の取り組みの現状と課題」	第 28 回日本がん看護学会学術集会 2013 年	共 著

歯 科 衛 生 学 科

氏　　名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
有 泉 祐 吾	“Current Trends in Use of Intracanal Medications in Dental Care Facilities : Questionnaire-based Survey on Training Dental Hygienists at Educational Institutions”	The Bulletin of Tokyo Dental College 54(1) p.45-50　2013.4	共 著
	「歯科衛生士教育における臨床実習の検討　２年制課程と３年制課程の実習内容の比較による今後の臨床実習について」	『日本歯科医学教育学会雑誌』　第 29 巻　第 2 号　p.128-134　2013 年 8 月	共 著
海 老 名 和 子	「歯科用拡大鏡を活用した操作体験からの学内実習導入に関する検討」	『日本歯科衛生学会雑誌』Vol.8-1　p.175 2013.8	共 著
	「学内実習における口腔内バキューム操作の現状と課題」	『日本歯科衛生学会雑誌』Vol.8-1　p.198 2013.8	共 著
木 林 美 由 紀	“A Conceptual Collaborative Health Test Library in Cloud-A trial on the Relevance of the Taiwanese Students' Ability of Mastication and Dietary Behavior”	Journal of Advancements in Computing Technology Vol.5 No.6 p.59-66 2012 年 3 月	共 著
	“Effect of dental health consciousness of dental health behavior through participation in community dental health activities”	E-Journal of Health Promotion and Education Vol.1 No.1 July 2013 http://health.edu.tw/health/portal_english/e-journal.html	単 著
	「日本と東アジアの大学生の咀嚼力の比較」	『口腔衛生学会雑誌』　第 63 巻　第 2 号　p.188 平成 25 年 4 月	単 著
	“Comparison between Japanese children and other Asian children about dentistry health action, dietary and living behavior”	International Journal of Dental HygieneVolume 11 Issue 4 p.236 November 2013	単 著
	“The oral health care guidance and its effects in the special support education class.”	7TH ACOHPSC p.34　2013 年 9 月	単 著
	「日本とアジアの子どもの咀嚼力の比較と食育支援への提案」	『第 77 回全国学校歯科保健研究大会』　p.34 2013 年 10 月	単 著
	「高校生における歯科衛生士の職業認知と歯科受診理由」	『日本歯科衛生教育学会雑誌』Vol.4　No.2 p.112　2013 年 11 月	単 著
田 中 丸 治 宣	「歯科衛生士養成大学・短期大学における教員の専門性並びに研究への認識について」	『全国大学歯科衛生士教育協議会雑誌』　No.2 p. 21-28　2013 年 3 月	共 著

氏　　名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
中野恵美子	『最新歯科衛生士教本　障害者歯科 第2版』	全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版　p.106-108　2013年5月	共 著
	「歯科衛生過程の教育への導入に関する予備的考察」	『日本歯科衛生教育学会雑誌』 4巻1号 p.55-59　2013年5月	共 著
	「学内実習における口腔内バキューム操作の現状と課題」	『日本歯科衛生学会雑誌』 8巻1号　p.198 2013年8月	共 著
	「感染予防に関する歯科衛生士の卒後研修ニーズとプログラム構築に向けての課題」	『日本歯科衛生学会雑誌』 8巻1号　p.220 2013年8月	共 著
	「歯科医師･歯科衛生士の『針刺し･切創』に関するアンケートについて」	『第22回日本口腔感染症学会総会・学術大会プログラム・抄録集』 p.29　2013年11月	共 著
中村和美	「歯科用拡大鏡を活用した操作体験からの学内実習導入に関する検討」	『日本歯科衛生学会雑誌』Vol.8 No.1 p.175 2013年8月	共 著
	「学内実習における口腔内バキューム操作の現状と課題」	『日本歯科衛生学会雑誌』Vol.8 No.1 p.198 2013年8月	共 著
	「感染予防に関する歯科衛生士の卒後研修ニーズとプログラム構築に向けての課題」	『日本歯科衛生学会雑誌』Vol.8 No.1 p.220 2013年8月	共 著
藤原愛子	「小学校低学年児童の第二乳臼歯齲蝕とフッ化物配合歯磨剤の使用 , 歯みがき習慣，蔗糖含有食品摂取頻度との関連」	『日本健康教育学会誌』Vol.21　p.163　2013年6月	共 著
	「高校生におけるストレス対処力（SOC）と心理社会的要因の関連構造」	『日本健康教育学会誌』Vol.21　p.123　2013年6月	共 著
	「大学生運動部員における精神健康の関連要因－競技ストレッサー・ストレス対処力・ソーシャルサポートに関する検討－」	『日本健康教育学会誌』Vol.21　p.124　2013年6月	共 著
	「地域高齢者における身体活動とストレス対処力（SOC）との関連－元気高齢者に関する年齢層別検討－」	『日本健康教育学会誌』Vol.21　p.125　2013年6月	共 著
	「幼児をもつ母親の食生活ならびに幼児に対する食教育と母親の就業状態との関連」	『日本健康教育学会誌』Vol.21　p.134　2013年6月	共 著
	「地震災害被災時対応に関する短期大学生の意識」	『日本歯科医療管理学会雑誌』Vol.48(1)　p.39 2013年6月	共 著

氏　　名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
藤 原 愛 子	「小学校２年生児童の第一大臼歯齲蝕検出とフッ化物配合歯磨剤使用状況との関連」	『日本歯科衛生学会雑誌』Vol.8(1)　p.116 2013 年 8 月	共 著
	「小学生における低学年期の下顎第二乳臼歯齲蝕と中・高学年期の第一大臼歯齲蝕との関連」	『日本公衆衛生雑誌』Vol.60(10)　p.498　2013 年 10 月	共 著
	「高校生における武道経験と心理社会的特性との関連」	『日本公衆衛生雑誌』Vol.60(10)　p.357　2013 年 10 月	共 著
	「地域高齢者における同居者の状況・住居周辺の環境とストレス対処力（SOC）との関連」	『日本公衆絵性雑誌』Vol.60(10)　p.420　2013 年 10 月	共 著
	「歯科衛生・看護を学ぶ学生および社会福祉・介護福祉を学ぶ学生の被災者支援における特性の検討」	『日本歯科衛生教育学会雑誌』Vol.4(2)　p.111 2013 年 10 月	共 著
森 野 智 子	最後まで口から食べるための口腔ケア」	月刊『DH Style』デンタルダイヤモンド社 Vol.7　No.1　p.30-34　2013 年 1 月（雑誌論文）	単 著
	『やさしい介護保険（資料集編）』	平成 24 年度　静岡県歯科医師会　平成 25 年 3 月（資料）	共 著
	「パーキンソン病者を中心としたムーブメントプログラムが在宅療養生活に及ぼす影響」	『せいれい看護学会誌』第 3 回せいれい看護学会学術集会 - プログラム・抄録集 -　A-16　Vol.3　No.2　March 2013（発表抄録）	共 著
	「訪問看護師による脳血管障害後遺症者の口腔ケアに関する検討」	『せいれい看護学会誌』第 3 回せいれい看護学会学術集会 - プログラム・抄録集 -　A-27　Vol.3　No.2　March 2013（発表抄録）	共 著
	「在宅健康長寿高齢者における口腔衛生状態と口腔状況との関連性について」	『口腔衛生学会雑誌』vol.63(2) p.199 2013 年 4 月（発表抄録）	単 著
	「在宅で生活する健康な高齢者における『棒付き飴』トレーニングの効果」	『老年歯科医学』vol.28(2) p.199-200 2013 年 9 月（発表抄録）	単 著
	「看護師による歯科インプラントに関わる口腔ケアの問題点」	『老年歯科医学』vol.28(2) p.197-198 2013 年 9 月（発表抄録）	共 著
	「ミニ特集２　さまざまな口腔ケアの方法とリスク」	心臓疾患領域の専門看護雑誌「HEART nursing」vol.26(8)　p.856-867 株式会社メディカ出版　2013（雑誌論文）	単 著
	「自立型デイサービス参加者における健康長寿者の口腔機能に関連する因子の検討」	『日本歯科衛生学会雑誌』vol.8(1) p.169 2013 年 8 月（発表抄録）	単 著

氏　　名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
森 野 智 子	「介護福祉施設での訪問歯科診療における歯科衛生士の取り組み－歯科受診コーディネートについて－」	『日本歯科衛生学会雑誌』vol.8(1) p.111 2013年8月（発表抄録）	共 著
	「500床の急性期病院における『周術期口腔機能管理』で対応したがん患者の口腔状態の調査」	『日本歯科衛生学会雑誌』vol.8(1) p.273 2013年8月（発表抄録）	共 著
	「学内実習における口腔内バキューム操作の現状と課題」	『日本歯科衛生学会雑誌』vol.8(1) p.198 2013年8月（発表抄録）	共 著
	「高齢者の食の安全と楽しみを守る『おいしい訓練飴』の開発」	『USフォーラム2013』ハイライト（静岡県立大学学術フォーラム）p.6 2013年9月（発表抄録）	共 著
	「パーキンソン病在宅療養者QOL維持・向上のための『口腔に関する情報シート』の開発」	『日本公衆衛生雑誌』vol.60(10) 特別附録 p.474 2013年10月（発表抄録）	共 著
山 本 智 美	「感染予防に関する歯科衛生士の卒後研修ニーズとプログラム構築に向けての課題」	『日本歯科衛生学会雑誌』 Vol.8 No.1 p.220 2013年8月	共 著
	「学内実習における口腔内バキューム操作の現状と課題」	『日本歯科衛生学会雑誌』 Vol.8 No.1 p.198 2013年8月	共 著

社 会 福 祉 学 科

氏　　名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
漁 田 俊 子	「保育士養成新カリ「保育実習指導」と「保育実習」評価方法の構築」	『日本保育学会第 66 回大会発表論文集』p.105（2013 年 5 月）	共 著
	「文脈依存自由再生に及ぼすビデオ文脈構成要素の効果」	日本認知心理学会第 11 回大会発表論文集 p.48（2013 年 6 月）	共 著
	「ビデオ文脈の反復様式が対連合学習におよぼす効果」	日本認知心理学会第 11 回大会発表論文集 p.89（2013 年 6 月）	共 著
	「再認におよぼすビデオ文脈の効果」	日本認知心理学会第 11 回大会発表論文集 p.96（2013 年 6 月）	共 著
	「BGM 文脈依存効果に及ぼす楽曲の熟知性の影響」	日本認知心理学会第 11 回大会発表論文集 p.103（2013 年 6 月）	共 著
	「新近性効果の成立における環境的文脈変化と比の法則の関係」	日本心理学会第 77 回大会発表論文集，p.779（2013 年 9 月）	共 著
佐 々 木 隆 志	「生きがいとは何か」 「介護保険制度の創設と変遷」	『学びを追究する高齢者福祉』（保育出版社）2013 年 2 月 15 日 p.14-15　p.96-99	共 著
	「介護老人福祉施設における介護職員確保に関する社会学的分析」	ＵＳフォーラム 2013　紙面発表（静岡県立大学）　p.207　2013 年 9 月	共 著
鈴 木 俊 文	「新潟県中越地震における施設「災害過程」の分析－身体障害者入所施設の実態調査から－」	「介護福祉教育」第 18 巻第 1 号（通巻第 34 号）日本介護福祉教育学会　p.73-76　2013 年 3 月	共 著
	「介護職員が捉えるニーズの差異に関する調査研究－「食べたい」「食べたくない」の意味づけの分析－」	日本認知症ケア学会誌 Vol.12(1) p.210　2013 年 6 月	
	「第４章５　エスノグラフィー」	『社会福祉・介護福祉の質的研究法－実践者のための現場研究－』（中央法規）p.149-164 2013 年 8 月	
	「「魅力ある職場」×「質の高い介護現場」－モチベーション研究会の取り組み－」	平成 25 年度全国老人福祉施設研究会議要覧 p.290　2013 年 12 月	
立 花 明 彦	「新潟県中越地震における施設『災害過程』の分析－身体障害者入所施設の実態調査から－」	「介護福祉教育」第 18 巻第 1 号（通巻第 34 号）日本介護福祉教育学会　p.73-76　2013 年 3 月	共 著
	『図書館サービス概論』	学芸図書　2013 年 7 月	共 著
	「科目〈図書館サービス特論〉における障害者サービス論の展開についての検討」	「図書館界」Vol.65 No.2（通巻 371 号）　日本図書館研究会　p.136-143　2013 年 7 月	単 著

氏　　名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
中 澤 秀 一	「若手組合員たちの労働組合への意識調査から」	『経済』（新日本出版社）No.210　p.70-74　2013 年 3 月	共 著
	「社会保障政策」	『日本労働年鑑』（旬報社）第 83 集 p.380-390　2013 年 6 月	単 著
	「現代版マーケット・バスケット方式の課題と展望－静岡調査から見えたこと－」	『貧困研究』（明石書店）Vol.10　p.128-129　2013 年 6 月	単 著
	「賃金と社会保障の組み合わせを考える」	US フォーラム 2013　口頭発表（静岡県立大学）　p.38　2013 年 9 月 25 日	単 著
	「若手組合員は労働組合をどうみているか－聞き取り調査から見出されたこと」	『労働総研クォータリー』（労働運動総合研究所）No.92　p.41-48　2013 年 11 月	共 著
松 平 千 佳	“How play can support children with chronic illness”	39th Annual International Conference The Association for the Study of Play (TASP),26th Conference The American Association for the Child’s Right to Play（IPA/USA）2013 年 3 月	単 著
	「HPS の視点と先進スキルで看護師が行う効果的プレパレーション」	日総研プレパレーションセミナー　2013 年 1 月 27 日	共 著
	「HPS の視点と先進スキルで看護師が行う効果的プレパレーション」	日総研プレパレーションセミナー　2013 年 2 月 23 日	共 著
	「HPS の視点と先進スキルで看護師が行う効果的プレパレーション」	日総研プレパレーションセミナー　2013 年 4 月 14 日	共 著
	「ホスピタル・プレイから遊育支援へ－ＮＰＯ法人としての新たなチャレンジ－」	こども環境学会 2013 年大会（東京）　2013 年 4 月 27 日、28 日	共 著
	「ホスピタル・プレイ・スペシャリストがおこなうプレイ・プレパレーションの一例、ミニワークショップ」	第 17 回日本医療保育学会　2013 年 6 月 1 日	共 著
	「HPS 教育プログラムの提供によるキャリアモデルの構築」	US フォーラム 2013　口頭発表（静岡県立大学）　p.39　2013 年 9 月 25 日	共 著
	「子どもにやさしい医療を実現するために～プレパレーションにかかわる課題を通して考える～」	プレイ＆プレパレーション研究会　2013 年 7 月 20 日	単 著
	「スキルアップ！遊びで子どもを支援する　領域別・分野別プレイ・プレパレーション　実践レクチャールーム　外来におけるホスピタル・プレイ活動」	『こどもケア』日総研出版　7(6)　p.1-4　2013 年 2 月	共 著

氏　　名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
松 平 千 佳	「スキルアップ！遊びで子どもを支援する　領域別・分野別プレイ・プレパレーション　実践レクチャールーム　救急場面におけるプレイ・プレパレーション」	『こどもケア』日総研出版　8(1)　p.2-6 2013 年 4 月	共 著
	「スキルアップ！遊びで子どもを支援する　領域別・分野別プレイ・プレパレーション　実践レクチャールーム　腎尿路疾患のある子どもに対するホスピタル・プレイ活動とプレパレーション」	『こどもケア』日総研出版　8(2)　p.2-7 2013 年 6 月	共 著
	「スキルアップ！遊びで子どもを支援する　領域別・分野別プレイ・プレパレーション　実践レクチャールーム　循環器病棟におけるホスピタル・プレイ活動とプレパレーション」	『こどもケア』日総研出版　8(3)　p.2-7 2013 年 8 月	共 著
	「スキルアップ！遊びで子どもを支援する　領域別・分野別プレイ・プレパレーション　実践レクチャールーム　整形外科疾患を持つ子どもに対するプレイ・プレパレーション」	『こどもケア』日総研出版　8(5)　p.1-7 2013 年 12 月	共 著

平成 25 年度：外部資金採択一覧

■科学研究費補助金等

＜新規＞

種目	研究者区分	所属・職名	氏名	研究課題・期間	配分額(円)
基盤研究（C）	研究代表者	看護学科・准教授	増田明美	通信制高等学校の養護教諭を対象にした参加型健康支援教育プログラム（2013 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日（予定））	500,000
基盤研究（C）	研究代表者	看護学科・准教授	高林ふみ代	食物線維溶液の摂取によって胃粘液を増やし胃潰瘍を予防できるかについての基礎的研究（2013 年 4 月 1 日～ 2016 年 3 月 31 日（予定））	1,900,000
基盤研究（C）	研究分担者	社会福祉学科・教授	漁田俊子	さまざまな環境情報が引き起こす文脈依存再認の包括的な説明原理の実証的探究（2013 年 4 月 1 日～ 2016 年 3 月 31 日（予定））	500,000
挑戦的萌芽研究	研究代表者	看護学科・助教	影山葉子	家族と「折り合いをつける」退院調整看護師の実践知の記述的研究（2013 年 4 月 1 日～ 2016 年 3 月 31 日（予定））	500,000
若手研究（B）	研究代表者	一般教育等・講師	林　恵嗣	暑熱下運動時における熱中症に対する食事面からの予防策開発（2013 年 4 月 1 日 ～ 2015 年 3 月 31 日（予定））	2,700,000
研究成果公開学術図書	研究代表者	社会福祉学科・教授	佐々木隆志	Study of End-stage Care Management in Japan	2,900,000

＜継続＞

種目	研究者区分	所属・職名	氏名	研究課題・期間	配分額(円)
基盤研究（C）	研究代表者	社会福祉学科・教授	漁田俊子	自由再生において単純および複合環境情報が引き起こす文脈依存効果の実証的比較研究（2010 年 4 月 1 日～ 2014 年 3 月 31 日（予定））	700,000
基盤研究（C）	研究代表者	社会福祉学科・教授	佐々木隆志	介護老人福祉施設における終末ケア全国実態調査研究（2011 年 4 月 28 日～ 2015 年 3 月 31 日（予定））	780,000
基盤研究（C）	研究代表者	社会福祉学科・准教授	松平千佳	子どもにやさしい医療を創造するためのホスピタル・プレイに関する研究（2011 年 4 月 28 日 ～ 2015 年 3 月 31 日（予定））	1,690,000
基盤研究（C）	研究代表者 研究分担者 研究分担者	社会福祉学科・講師 社会福祉学科・准教授 社会福祉学科・講師	鈴木俊文 立花明彦 濵口　晋	介護施設における「災害過程」対応教材・研修プログラムの開発（2012 年 4 月 1 日 ～ 2016 年 3 月 31 日（予定））	1,100,000

種目	研究者区分	所属・職名	氏名	研究課題・期間	配分額(円)
基盤研究（C）	研究分担者	看護学科・准教授	増田明美	新たな子宮頚がん予防対策モデルの構築（2012年4月1日～2015年3月31日（予定））	60,000
基盤研究（C）	研究分担者	歯科衛生学科・講師	森野智子	パーキンソン病高齢者の家族介護者を中心とした在宅療養生活支援プログラムの開発（2012年4月1日～2015年3月31日（予定））	164,000
挑戦的萌芽研究	研究分担者	看護学科・准教授	増田明美	施設で働く介護職のスキル向上プログラムの開発　－認知症高齢者に焦点を当てて－（2012年4月1日～2015年3月31日（予定））	30,000
若手研究（B）	研究代表者	一般教育等・講師	垣口由香	ベケット文学における「歓待」（2011年4月28日～2014年3月31日（予定））	900,000

■その他の研究助成

研究者区分	所属・職名	氏名	研究助成者	研究課題・期間	助成金額(円)
研究代表者	看護学科・教授	古賀　震	公益財団法人SBS静岡健康増進センター　理事長	生活習慣病（特に循環器疾患、脳血管障害および骨粗鬆症による骨折）の発症予防に関する研究（平成23-25年度）	500,000
研究代表者	社会福祉学科・准教授	松平千佳	社会福祉法人白翁会	受託研究事業「科学的介護の実践に係る介護福祉事業のモデル開発」について（平成25-26年度）	150,000
研究代表者	社会福祉学科・助教	庭野晃子	一般財団法人こども未来財団	「新人保育士の退職防止のための教育・研修プログラムの開発」（平成25年7月～平成26年3月）	700,000
研究代表者	社会福祉学科・講師	鈴木俊文	社会福祉法人明翠会	受託研究事業「介護老人福祉施設における介護職員のキャリア開発に関するニーズ調査・支援システムの研究」」（平成25年4月～平成26年3月まで）	240,000

■奨学寄付金

研究者区分	所属・職名	氏名	寄付申込者	研究課題・期間	寄付金額(円)
研究代表者	看護学科・教授	古賀　震	公益財団法人SBS静岡健康増進センター　理事長	血液検査および画像データと臓器障害（特に肺、腎、肝など）の病態解析に関する研究（平成25年度）	720,000
研究代表者	歯科衛生学科・准教授	木林美由紀	公益財団法人日本教育公務員弘済会	咀嚼力の育成を目指した食育推進の支援プログラムの実施と効果の検討（2013年4月-2015年3月）	996,400

静岡県立大学短期大学部研究紀要に関する細則

平成 21 年 7 月 1 日 細則第 40 号
改正 平成 23 年 1 月 11 日

（目的）
第１条　本学における学術研究（調査などを含む。）の成果を発表するために、静岡県立大学短期大学部研究紀要（以下「紀要」という。）を刊行する。
（原稿の種別）
第２条　紀要に掲載する研究成果は、次のものとする。
（１）未発表（口頭発表を除く。）の研究論文、調査報告、短報など
（２）総説、資料など
（３）発行年度 12 月末までの 1 年間の研究成果で、紀要以外に発表したものの一覧
（４）その他図書館・紀要委員会（以下「委員会」という。）が掲載の必要を認めたもの
（投稿者の資格）
第３条　紀要に研究成果を発表する資格を有する者は、次の者とする。ただし、本学専任教員との共同執筆の場合はこの限りではない。
（１）本学の専任教員
（２）その他委員会で認められた者
（刊行）
第４条　紀要は、原則として冊子号、Web 号の各号を毎年度 1 回、3 月末日までに刊行する。
（原稿の作成）
第５条　原稿は、別に定める執筆要領を基本として作成する。
（１）冊子号の原稿提出にあたっては、原稿本文に原稿を保存した電子媒体を添付する。Web 号原稿は、PDF ファイル形式で提出する。
（２）委員会は、執筆者に原稿の加除修正を求めることができる。
（原稿の受理）
第６条　紀要の原稿の受理は、次のとおりとする。
（１）原稿の受理は、図書館・紀要委員長が総括する。
（２）受理日付を記載する。
（３）締切り月日は、委員会の指定する日とし、同日より後の受理原稿は、次年度に掲載する。
（４）Web 号の原稿は、完成された投稿原稿のみを受理する。
（編集）
第７条　冊子号の編集は、次のとおりとする。
（１）原稿の掲載順は、代表著者の所属学科により、次の順とする。
①一般教育等　②看護学科　③歯科衛生学科　④社会福祉学科　⑤年度内業績一覧
ただし縦組みの分は、別に一括し、その中で上記の順による。
（２）各学科等のなかの掲載順は、代表著者氏名の 50 音順とする。
（３）校正は、原則として執筆者が行う。
（４）印刷部数は、発行の都度必要に応じて委員会で決定する。

２　Web 号紀要の原稿の掲載順は、原稿受理日順とする。

（配布）

第８条　冊子号の配布は次のとおりとする。

（１）贈与

次の者に、紀要の本冊ないし抜き刷りを贈与する。

①執筆者　本冊１部、抜き刷り 50 部

②本学専任教員　本冊１部

③その他紀要委員会で認めた者

（２）交換

内外の諸研究機関と紀要、研究誌の交換を行う。

（３）頒布

①頒布希望者には、部数に余裕のある場合に限り、本冊を頒布する。

②論文執筆者が、本条（１）の①を超えて本冊又は抜き刷りをあらかじめ請求するときは、実費を本人負担のうえで増刷する。

（保管）

第９条　紀要の保管は、図書館で行う。

（倫理的配慮）

第 10 条　人及び動物を対象とした研究については、倫理的に配慮した旨を本文中に明記しなければならない。

（著作権）

第 11 条　掲載論文の著作権は、著者に帰属する。ただし、著者は、静岡県立大学短期大学部が投稿論文を印刷物として発行し、Web 上で公開することを許諾する。

附　則

（施行期日）

１　この細則は、平成 21 年７月１日から施行する。

（静岡県立大学短期大学部研究紀要規程に関する細則の廃止）

２　静岡県立大学短期大学部研究紀要規程に関する細則（平成 19 年４月１日 細則第 53 号）は、廃止する。

附　則

この細則は、平成 23 年１月 11 日から施行する。

編　集　方　針

「静岡県立大学短期大学部研究紀要に関する細則」に準拠して『研究紀要』を編集した。

静岡県立大学短期大学部研究紀要　第27号（2013年）

2014 年 3 月 25 日発行

発　　行：静岡県立大学短期大学部

〒 422-8021　静岡県静岡市駿河区小鹿２丁目２番１号

（電話）０５４－２０２－２６００（代表）

（電話）０５４－２０２－２６１７（附属図書館）

（FAX）０５４－２０２－２６２０（附属図書館）

編　　集：図書館・紀要委員会

委員長　有泉　祐吾（歯科衛生学科）

委　員　原田　茂治（一般教育等）

委　員　今福　恵子（看護学科）

委　員　鈴木　温子（歯科衛生学科）

委　員　石野　育子（社会福祉学科）

印　刷　所：創文社印刷株式会社

〒 420-0812　静岡県静岡市葵区古庄２丁目７番 16 号

（電話）０５４－２６５－０８７０

（FAX）０５４－２６５－２１８０

ISSN 0914-7810

© 静岡県立大学短期大学部　2014